＜善通寺市生活支援等サービス協議体の検討経過及び対応方針について＞

○平成２７年度

地域のニーズ、課題について意見交換。自分の目で買い物したい、地域交流の希薄などのニーズや課題に対応するために、シルバー人材センターが実施主体で移動販売（ちょこっと号）を実施することとなる。ちょこっと号の販売物や停留所などについて協議実施。

○平成２８年度

さわやか福祉財団を招き、今後の協議体の役割や他の自治体の活動事例などについて協議。次年度に向けて、生活支援コーディネーターの配置や協議体の構成団体の追加を検討。ちょこっと号が開始（Ｈ２８年４月）。

○平成２９年度

生活支援コーディネーターの配置（２名体制で１名は社協に委託）。ふれあい・いきいきサロンを構成団体に追加。生活支援コーディネーターが、ふれあい・いきいきサロンのメンバーに地域の困り事や今後出来そうなこと等について、アンケート調査を実施。調査結果から、高齢者が必要としていること、地域で取り組めること等について意見交換実施。

○平成３０年度

平成２９年度のアンケート調査より、介護予防や見守り、地域交流などの課題に対して、新たな地域交流の場づくりについて協議。ふれあい・いきいきサロンの課題（人材不足、利用者減少等）に対して、総合事業のメニューの1つとして、足うら健康サロンの開始（Ｈ３０年４月）。地域交流の場として、おしゃべり亭（吉原町）が開始（Ｈ３１年１月）。

○令和元年度

　現在取り組んでいる生活支援サービスや地域交流の場づくりについての情報共有や地域課題について協議。３世代交流ができるつどいの場として、わいわい亭（金蔵寺町）が開始（Ｈ３１年４月）。

また、介護予防・生活支援サービス事業における多様なサービス及びその他の生活支援サービスの担い手不足のため、担い手不足の課題に対する研修を開催する方針。

○令和２年度

現在取り組んでいる生活支援サービスや地域交流の場づくりについての情報共有や地域課題について協議。昨年度に共通課題であった担い手不足のため、介護予防サポーター養成研修を９月、１０月に開催。計２０名参加され、登録希望者にサポーター登録をしてもらった。

〇令和３年度

　現在取り組んでいる生活支援サービスや地域交流の場づくりについての情報共有や地域課題について協議。昨年度に引き続き、生活支援等サービスの充実のためには、担い手不足が課題であるため、担い手の充実を図るために介護予防サポーター養成研修を９月～１１月に開催。計１５名参加され、登録希望者にサポーター登録してもらった。